

田んぼ跳び



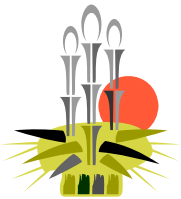
四谷の

千枚田だより



第 52 号

水落とす 棚田に高さ野面垣
藤枝市 祝田五郎



謹賀新年

田おこし

十一月三十日(水)、連谷小学校児童全員(十名)は学校田の田おこし作業を行いました。

四阿で給食の後、小山舜二(県ふるさと指導員)から「ワラや干草を入れて田んぼを耕すと土の中に酸素が補給されたり、微生物の力で土が生き返り、美味いお米ができる。田おこしは、もう来年の支度だ・」などの説明を聞き、それぞれが管理する三枚の田んぼ「たんぼつくる」かんたはるまさ、わんぱく田たぐまゆうきあらたけいしけん、たんぼびよりもえみきょうごしようた」の田おこしが来年の豊作を願う行われました。

田おこしの後、昔のあそび「田んぼ跳び」が行われました。

田んぼ跳びは大きな子供は高い石がきをまっすぐ飛び降りるのに比べ、小さい子供は低い石がけを目がけて走り、飛び降りる。その瞬間の判断に先生も(舜)も感心しきりでした。

今の世の中、何かあったら「訴え



てやる・」と、父兄や住民が相マスコミ化し、騒ぎすぎる。そんなご時世、一見、危険そうにみえる「田んぼ跳び」を子供と一緒に実践した先生達の決断は「連谷魂」の育成、「思い出づくり」と感謝にたえない。(ビリを跳んでいるのは教頭先生)

テレビ愛知はこうした少数学校の子供達や地域の活動を取材、「カメリポ」として四回(シリーズ)放送してきました。今回は最終で、昔懐かしい籾殻焼きや子供達の田おこし作業、田んぼ跳びを取材、近々に放送予定です。また、年間を通して取材されたものは来年に放送が予定されています。

田吾作の餅つき大会



「田吾作」は四谷の千枚田の休耕田や高齢化などによる耕作放棄地を解消するため、千枚田の耕作者の有志(代表 今泉良治)で結成。保全に取り組んでいます。

師走の九日(日)、山都共生の理念を柱に恒例の豊作感謝祭として千枚田が一望できる「ふれあい広場」で餅つき大会が催されました。

当日は好天にも恵まれ、都市近郊

から約三百人が訪れ、つきたての餅(きなこ、大根おろし、草もち)に舌鼓しました。

毎年訪れる小坂井の「勇寿司さん」は数日前に右腕を骨折、本来なら手術で入院のところ、「わしが一緒に駆けつけ、痛々しい姿ながらもおいしい寿司を提供、長蛇の列ができました。ふんとうにありがとうございます

みんなの三河(シリーズ)

十二月九日(日)、一設公募で参加した三十八人(十四組)は「連谷お助け隊」の指導で身平橋集会所において玄奘等に飾るオリジナル明松(ミニ門松)を一人一個作りました。上手く出来ても、出来なくても世界にただ一つ、オリジナル明松の完成に参加者は満足げでした。



ミニ門松を作っているから、「ふれあい広場」で行われている田吾作主催の餅つき大会に参加、つきたてのおいしいお餅やお寿司、イカ焼きなどをたらふく食べ、訪れていた近隣の方達と楽しい交流ができました。

帰りは千枚田の景観道を小山舜二(自然体験活動指導者)と散策しながら高低差二百メートルある千枚田入口まで下り、今年の「みんなの奥三河」を思い出多く終了しました。

しめ縄 (二件)

日本一の高さを誇る鳳来寺の「傘杉」と蒲郡市竹島の八百富神社のしめ縄飾りに田吾作の有機減農薬で

栽培した稲藁が使われます

日頃よりのご支援ご厚情に心より感謝申し上げます。昨日棚田振興議員連盟の総会があり四谷の千枚田のお米をいただいたてまいりました。皆さまのご苦勞に少しでも力になれるよう議連の一員として頑張っております。当日の資料を参考までに送付いたします。機会を作り是非、地元の棚田も見てみたいと思っておりますので何かありましたらお声掛け下さい。まずはご報告まで
十一月二二日

小山舜二様

衆議院議員鈴木克昌

げなげな噺

あのやあゝ 串柿を揉むと粉がふくつちゅうらゝ、それがやあゝ人によつちやあ、揉んどるうちに粉がふくが、いくら揉んでもさつぱり粉がふかん人がおるが、ほい、なんでだらあんの・・
そりやあんの、昔から一人の手を嫌う「ちゅつてのん・梅漬けにシソを揉んで入れても、さつぱりいい色が付かんちゅうう人がおるだらあゝワサビも力を入れて一生懸命搦ると辛いちゅうのと同じで、気が短いか、根性悪ちゅうもんじゃあないづらかのん・・ほい、わしが言ったなんて皆んなに喋つちやあかんぞん・・また、えらい目をこくだに

行 平成十九年十二月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文責 小山舜二